

優良酒米コンテストで県知事賞受賞!



出羽燦々の部で 上台の今田さん

2月15日(水)、ホテルメトロポリタン山形で「酒米の里づくりフォーラム」が開かれました。優良酒米コンテストの出羽燦々の部において、金山酒米研究会の今田政男さん(上台)が見事に最高賞となる県知事賞を受賞しました。

また、同部において丹隆一さん(荒屋)がJA全農山形運営委員会会長賞に、松沢信矢さん(三枝)が県酒造適性米生産振興対策協議会会長賞を受賞しました。なお、丹さんは4度目(H17・22に県知事賞)、松沢さんは3度目(H21に県知事賞)の受賞です。

受賞した今田さんは「金山酒米研究会のみなさんとJA金山の稲作指導のおかげ。今後も消費者に評価される酒米生産に努力していきたい。」とのべました。

ぜひ、20歳以上の方は、金山産酒米で製造される「稲露」「酒の郷」(JA金山生活部等で販売)を味わってみてはいかがでしょうか。



かねやま

ますのわだい

日体協・日本五輪委員会より功労者表彰



金山町体育協会の顧問で町観光協会会長でもある岸英三さん(十日町)が、この度、財日本体育協会と財日本オリンピック委員会より功労者表彰を受賞されました。

岸さんは、アルペンスキーをはじめ、陸上競技等の団体会長を長年務め、競技の普及や強化、指導者の育成等、日本のスポーツ界全般に尽力された功績が評価されたの表彰となりました。おめでとうございます。

樋渡さん100歳おめでとう!

樋渡カンさん(羽場)が100歳を迎え、町から賀詞とお祝いが贈呈されました。

樋渡さんは、明治45年(子歳)生まれ。

最近まで近所の店に歩いて買い物に行くなど元気に過ごしています。

この日は、自宅に家族と親戚が集まり祝賀会を行いました。

おめでとうございます。これまでの健康長寿をお祝いするとともに、これからも楽しく生活されるようお祈りします。



ソフトバレーフェスタ「ふれスポリーグ」で汗!



2月19日(日)、金山中学校体育館で、第9回ソフトバレーフェスタ「ふれスポリーグ」が開催されました。中学生から70代まで男女混合16チーム約90名が参加し、熱戦が繰り広げられました。

優勝は、七日町から出場のツインズチームで2年連続の優勝でした。参加者の一人が「冬に楽しく盛り上がるスポーツイベントはいろいろな交流があっていい。また来年も参加したい。」と話してくれました。



第55回白銀スキー大会が神室で



55回目を数え歴史と伝統ある「白銀少年スキー選手権大会」が、2月26日(日)神室スキー場で開催され、県内から距離競技・回転競技に合わせて330人の小中学生が参加し、雪原を駆け巡りました。

この大会は、白銀会(会長・星川廣氏)の会員をはじめ、スキー愛好者や役員職員等のボランティアによって成り立っている大会です。寒さを吹き飛ばすかのような子どもたちのがんばる姿に大きな声援がこだましていました。

第3回金山フォトコンテスト審査が行われる



2月17日(金)、役場で「第3回金山フォトコンテスト審査会」が行われ、春夏秋冬の部門別に全国から計81作品の応募がありました。

おなじみの名所や隠れたスポットなど四季折々の作品は、写真家で特別審査員の東北芸術工科大学の屋代先生らにうならせていました。

入賞作品は、3月発行の「森の便り」で紹介する他、新年度に蔵史館での常設展示も行いますので、ぜひ一度ご鑑賞ください。

みすぎ荘職員・農事組合法人いすえむが 除雪ボランティア



1月27日(金)~2月2日(木)にかけて、みすぎ荘の職員有志が、一人暮らし高齢者の敷地内で除雪のボランティア活動を行いました。

2月18日(土)農事組合法人いすえむ(代表・青柳栄一氏)と株式会社エヌシップ(代表・長倉直人氏)の新規就農者6人が一人暮らし世帯の除雪ボランティア活動を行いました。

中高生が認定こども園で 雪像づくり



2月16日(木)、金山高校と金山中学校の生徒合わせて約40名が、認定こども園「めぐたま」で毎年恒例の雪像づくりと雪遊びのボランティア活動を行いました。

高校生が主に広場で雪像とかまくら作りを、中学生が裏山で滑り台づくりを手がけました。

出来上がった雪像を見つけた園児たちは、園舎から飛び出すように駆け上がり大喜び。最初は遠慮がちだった高校生も園児と打ち解けて一緒に雪遊びを楽しんでいる様子でした。

この日は、テレビ局2社の取材もあって、金山中高一貫のボランティア活動を県内にPRできたようです。